

令和6年8月20日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会

1 日 時 令和6年8月20日(火曜日)

午後4時00分から午後5時00分まで

2 場 所 教育委員会会議室

3 出席者

教育長 金澤 俊道 委 員 鷲尾 達雄 委 員 大久保 真紀
委 員 廣川 佳予子 委 員 熊倉 達也

4 欠席者

なし

5 職務のため出席した者

教育部長(学校教育課長事務取扱)	竹内 正浩	子ども未来部長	星野 麻美
教育部参事(科学博物館長事務取扱)	金垣 孝二	教育総務課長	桜井 秀行
教育施設課長	吉田 朗	学務課長	大竹 美加
学校教育課部活動地域移行担当課長	石川 智雄	学校教育課主幹兼管理指導主事	玉木 暢
学校教育課主幹兼管理指導主事	佐々木 潤	学校教育課主幹兼管理指導主事	稲毛 真哉
中央図書館長	梅沢 一茂	子ども・子育て課長	深澤 寿幸
子ども家庭センター所長	大久保 千春	保育課長	江田 佳史
学校教育課長補佐	名児耶 仁愛	学校教育課企画推進係指導主事	大田 克

6 事務のため出席した者

教育総務課長補佐	中村 一幸	教育総務課庶務係長	今井 香
教育総務課庶務係主査	池田 伸克		

7 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 24 号	令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について
3	第 25 号	長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について
4	第 26 号	長岡市立図書館運営規則の一部改正について
5	第 27 号	条例改正の申出について（長岡市保育園条例の一部改正について）
6	第 28 号	補正予算の要求について

8 会議の経過

（金澤教育長） これより教育委員会 8 月定例会を開会します。

◇日程第 1 会議録署名委員の指名 について

（金澤教育長） 日程第 1 会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員については、長岡市教育委員会会議規則第 19 条第 2 項の規定により、廣川委員及び熊倉委員を指名します。

◇日程第 2 議案第 24 号 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について

（金澤教育長） 日程第 2 議案第 24 号 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価報告書について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

（竹内教育部長（学校教育課長事務取扱）） 令和 5 年度教育に関する事務の管理及び執行の点検及び

評価報告書について説明します。7月10日に事務評価委員会を開催し、事務局からの説明および質疑応答を行いました。その後、8月8日に事務評価委員会から点検及び評価結果の提出がありました。全体を通しての事務評価委員会の意見としては、「長岡市教育大綱および長岡市教育振興基本計画に基づき、着実に施策が実施され教育行政事務が執行されている。」「各事業の点検評価が確実に行われており、施策の進捗状況が明らかになっている。」「妊娠期から大人になるまで一貫したサポート体制を整えるために工夫され、どの事業も素晴らしい取組をされており、歴代の偉人たちが立ち上げた「米百俵」の精神が受け継がれていることを感じる。」などの評価をいただいています。一方で、「いくつかの施策でキーワードとなっている適切な支援、切れ目のない支援を進めていくためには、担当課の枠を超えた協力的な取組が今まで以上に必要である。市長事務部局も含めた行政間の連携をより進めてほしい。」「より多くの市民から興味関心を持ってもらい、長岡市の教育行政に理解と協力を得られるように、情報発信の手段や方法にさらなる工夫が必要である。」といった意見や要望をいただきました。その他、教育委員会の開催および審議状況等についての意見や教育委員会における事務の点検評価についての意見は報告書のとおりです。いただいた意見については、今後のより良い教育環境や効果的な事務事業の参考にしたいと考えております。また、評価報告書本体については、6月3日に開催した教育委員会協議会でいただいたご意見他、事務評価委員会の意見を反映させ、一部に見直しおよび修正を加えております。主な修正箇所については、評価報告書と併せて配付しました一覧表に記載していますので、そちらをご覧ください。最後に、本日この会議で決定していただいた上で、評価報告書については9月の市議会定例会において報告し、公表することとなっています。よろしくご審議をお願いします。

(金澤教育長) この件について御質疑、御意見はありませんか。

(熊倉委員) 全体的にこれまでの取組を踏まえて評価基準をしっかりと設定し、達成度を公開していくという方針は良い方向に進んでいると思います。一つ確認ですが、「Edu-Diver 構想の推進」について、教育委員会協議会で意見があった授業イノベーションについて、授業イノベーションが具体的にどういうことを示しているのか、現

場の先生方はどう捉えているのか、子どもの動きは実際どうなっているのかをよく見なければと思います。評価書には「市の学校教育研究協議会とタイアップして実施」と表記がありますが、とても大切なことであり、良いと思いました。「個別最適」と、「協働的」と、「実体験が大事である」とありますが、「実体験」が入っているのは大賛成です。ここにICTが加わり、Edu-Diver構想の推進となった時に、実体験とICTの活用が、どこまで親和性を持ってできているのか疑問です。市教研や教育センターが、どのように噛み砕いて現場に伝え、取り組んでいるのかを確認させていただきます。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) この事業名称については誤解する職員も多く、最初は「ICT機器を活用していれば授業イノベーションである」という認識が多かったのですが、それを今は噛み砕きながら、個別最適な学習はICTだけではなく、一つのツールとして便利な活用の方法を紹介し、協働的な学びについても、話し合いだけではなく、ICTを使った協働的な学びも色々ある中で、熊倉委員が言われたとおり、映像を見ただけでは実体験とは言えないので、理科で例えれば実験をとおして、煙が出たり暖かくなることを体感したり、また、実際に戦災資料館に行くなどしたり、自然体験の中で、植物に触れるとザラザラしている等、実際に触れてみて、なるほどと思ったりする活動も大切にしていこう。その中で、振り返りの時間にICTを使い、「あの時はこうだったよね。この映像を見て思い出そう」、というふうに使えたら一番良いということで、具体例を出しながら取り組んでいるところです。教育センターでも一生懸命、関わらせていただいています。

(熊倉委員) 評価書には、社会科と英語で公開授業を実施したと記載がありました。ここで授業イノベーションとICTを、どのように組み入れたのか。ICTを使うことによって本当に子どもの学びが深まったのか、本当に個別最適な学びや協働的な学びが実現されていることを先生方が実感できれば使うと思います。実感できなければ、「使えと言うから使う」ということになると思いますので、そこがピタッとはまっているのか感覚を聞かせてください。

(玉木学校教育課主幹兼管理指導主事) 熊倉委員が言われたように、実際にICTを

使用した場面で良いものを作っていくために、学校教育研究協議会とタイアップして実際の授業を先生方が見て、意見を交わし、もっとこうしたら本当に授業イノベーションが実現出来そうだと協議していく形にしていきたいと考えています。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) せっかくですので、教育センターのイノベーション担当から、実際の例を御報告させていただく機会を設けたいと思います。皆さんが注目していることだと思いますし、教育センターの担当もしっかりと取り組んでいますので、所長と段取りを考えたいと思います。

(金澤教育長) これは去年の事務評価ですが、今年度は既に取り組を始めていますよね。事務評価の結果とは別に、今年度はこれをやっています、こうやって研究を進めています、このように実践を深めていますという実例を、今年度の教育委員会定例会で是非報告してください。

(稲毛学校教育課主幹兼管理指導主事) 具体的に授業を受けてみると、ICTの活用は色々な交流の場を設けることに意義があると思います。具体的には、個々の考えをお互いに見合うことができることが一点。また、もう一つ工夫していると思うのが、アプリを使ってグループの考えを一つのタブレットで作っていき、それをまた各グループごとに交流するという授業をしていました。これがタブレットの良さで、色々なグループが色々な考えを、タブレット内でそれを試行し考えて練り上げていき、またグループごとの考えをそれぞれのグループの人が見られるという授業に参加しました。協働的な学びの意味合いも、こういうところにあると思いました。

(金澤教育長) 「協働的な学び」、「個別最適な学び」の部分と「タブレットの活用」は割と見える部分であると思います。一方で、長岡が独自に「実体験」を授業イノベーションに掲げている中で、デジタルに相反するような実体験がどのような形で現場で実施されてるかという質問だと思います。授業イノベーションは佐々木管理指導主事が指導主事で勤務していた頃にスタートした考えでしたよね。

(佐々木学校教育課主幹兼管理指導主事) 授業イノベーションを最初に言い始めた頃は、「令和の日本型教育」の概念において個別最適な学びと協働的な学びがICTによって充実するという考えからでした。そこで、長岡はそれをやるだけではなく、実

体験を大事にする授業作りを意識しながら、ICTを活用するという方向で動いてきました。その後、ICTの活用方法が浸透してきて、子どもたちも教職員も、かなり柔軟にタブレットなどを使えるようになってきています。学校教育課から提案している授業イノベーションは、個別最適で協働的な学びだけではなく、そこから先にある主体的・対話的で深い学びを実現しようという方向に昇華していくということを提示する段階に来ていると思います。ICTを使うことが全てではなく、きちんと各教科の見方、考え方を働かせ、実体験を大事にしながらより良い授業作りをする。その中で効果的にICTを活用するという段階まで高まってきていることを実感として見ているところです。学校に行っても、ICTばかりを使っているわけではなく、大事な話合の時には、みんなの意見を可視化するために使っているという場面も見させていただいたこともあります。実体験では、みんなと一緒に体を働かせて使うといった活動的な様子も見られますので、そのような意味でもうまく融合し始めているというところだと見えています。

(金澤教育長) 当時、佐々木管理指導主事とは、タブレットが万能みたいなことが言われいてる中で、一方では実体験を抜いては駄目だろうという話をしていました。その中で、それをどうやって組み入れていくかは、これから考えてやっていく必要がありますが、タブレットにのみ頼る授業は駄目で、実際に人と会って対面で喋る、それから実際に触ってやってみることを抜きには授業はできないということで、戒めの意味も含めて、授業イノベーションの中に位置づけたものです。これから本当に現場の先生が違和感なく出来るかどうかは、これからさらにブラッシュアップしてもらう必要があると思います。

(熊倉委員) ここからは私見ですが、道具としてタブレットを使いこなすとか、情報環境の中でスキルを上げていくといったように、道具として使いこなすことはできると思います。授業イノベーションという授業作りにきちんと取り組んだり、子どもの学力を高めたり学びを進めるという目的が前提としてあり、その一部を支えるものとしてICTがあるんだということを、やる方も、言う方も理解した上で子どもの学びを真ん中に据えて全面に押し出すと良いと思います。一見、Edu-Diver 構想の中に授

業が組み込まれているような印象を持ってしまうため、そこは懸念しています。

(金澤教育長) 他に、御質疑はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第3 議案第25号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について

(金澤教育長) 日程第3 議案第25号 長岡市教育委員会表彰被表彰者の決定について を議題とします。

(金澤教育長) 定例会前に実施したヒアリングを踏まえ、各表彰候補者について、被表彰者として適しているか否かを決定します。対象者は、条項第3号の1名、第6号の10名、第7号の5名です。全員を「適」と決定してよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) それでは全員「適」と決定しました。

◇日程第4 議案第26号 長岡市立図書館運営規則の一部改正について

(金澤教育長) 日程第4 議案第26号 長岡市立図書館運営規則の一部改正について を議題とします。事務局の説明をお願いします。

(梅沢中央図書館長) 議案第26号長岡市立図書館運営規則の一部改正について説明します。改正理由は、中央図書館講堂・講座室の附属設備について、具体的には、グランドピアノやワイヤレスマイクになりますが、現在は料金体系が複雑なため、長岡市で導入している公共施設予約システムによるインターネット予約ができないため、電話および対面での対応をしています。利用者の利便性と業務効率化を図るため、所要の改正を行うものです。改正内容については、別表の附属設備使用料について、「1台1回」を「1台1日」に改正し、それに関する項目を削除・修正するものです。使用料を算出にあたり単位を一日単位にするものです。改正による影響については、令

和5年度においては全体で43回の附属設備の使用がありましたが、このうち4時間を超えた使用は4回であり、ほとんどが4時間以内の利用となります。また、令和3年度の使用についても同様の傾向です。施行期日については、公布の日から施行し、令和7年3月31日までの間に附属設備を使用する場合は、別表の規定の運用については従前どおりとなります。具体的に使用料の範囲の変更については、来年度4月1日から公布するものです。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) これより採決に移ります。本件は、原案のとおり決定することに御異議ありませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(金澤教育長) 御異議なしと認めます。よって、本件は原案のとおり決定しました。

◇日程第5 議案第27号 条例改正の申出について（長岡市保育園条例の一部改正について）

(金澤教育長) 日程第5 議案第27号条例改正の申出についてです。この内容から報告事項「令和6年度全国学力・学習状況調査結果概況について」までについては、公表前であることや公表しない内容が含まれているため、非公開が適当ではないかと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

【異議なし」と呼ぶ者あり】

—会議規則第20条第2項の規定により公表しない—

(金澤教育長) 次に、協議報告事項 長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の一部改正について 事務局の説明をお願いします。

(深澤子ども・子育て課長) この一部改正についてですが、改正理由は、令和6年5月21日付けで国の子ども・子育て支援交付金交付要綱の一部改正に伴い、長岡市放課後児童健全育成事業運営費補助金交付要綱の児童クラブの補助金に係る本要綱の

一部を改正するものです。改正内容については、要綱の別表で定めます補助基準額を変更するものです。これについては、毎年国の見直しに伴い行っているものです。施行期日は公表の日とし、改正後の補助基準額は、本年4月1日以後に行われる補助対象事業について適用するものです。なお、補助基準額の新旧対照表については資料をご覧ください。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和6年度第1回長岡市栃尾美術館協議会報告について事務局の説明をお願いします。

(梅沢中央図書館長) 令和6年度第1回長岡市栃尾美術館協議会報告をします。7月18日に栃尾美術館で行われました。出席者は、委員8名、竹内教育部長以下、事務局が参加しています。会議内容は、令和5年度後期事業報告等、令和6年度事業計画、そして来年度栃尾美術館が開館30周年ということで、その取組について委員から御意見などをいただきました。主な意見としては、一つ目として、30周年のアイディアとして、1年間のパスポートやスタンプラリー、子どもの作品展向けのデジタル写真募集、栃尾のあぶらげや「30」をテーマに作品を募集するなどはどうか、また、地元で30才前後の新進気鋭の現代美術家がいるということで、そういった方の力を借りたらどうかというようなご意見をいただきました。また、スクールバス等の活用ができるかどうかというような質問もありましたが、スクールバスについては難しいということですが、毎日ではなく美術館の30周年企画として行うことであれば、別途バスを用意して実施することは可能とお答えしました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和6年度第1回長岡市水族博物館協議会報告について事務局の説明をお願いします。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 令和6年度第1回長岡市水族博物館協議会報告です。出席者は9名の委員全員出席でした。会議内容及び委員から出された主な意見については記載のとおりです。様々な未利用魚を水族博物館の展示で活用することはできないかという意見がありました。現在、未利用魚の展示はしていないが、地元の魚を紹介していく形で展示できないか前向きに検討していくとお答えしました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(鷲尾委員) 寺泊水族博物館のリプレースについて、現状をお答えできる範囲で知りたいのですが、理由は、先日テレビで富山県魚津水族館をフォーカスした番組を見ていたのですが、そこは富山県唯一の公的な水族館らしいのですが、建築後50年が経っており非常に老朽化していて、市としてはどうしたら良いのか本当に悩んでいて、迷走している感じで、非常に困っているという水族館を特集したニュースを見ました。寺泊水族博物館の進捗と未来予想図を教えてください。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 現在公表されている水族博物館の新築・リニューアルに関する計画は、数年規模の事業として10年先を見据えた期間での検討を始めたものです。現在の水族博物館の場所をどこに決めるのかが計画の一番の肝になりますが、御存知のとおり現在寺泊は大河津分水の工事をしており、工事が出る土砂を使って海岸線を整備するという計画があります。整備された場所を移転先の一つとする案がありましたが、大河津分水の工事が随分延長し、現時点では10年先の計画を検討する段階ではないという状況になりました。検討を何度か進めてきましたが、全体の大枠が決まる前に展示等の議論を先に進めても難しいということで、計画を立てるタイミングを伺っている状況です。私も魚津水族館の放映を見ましたが、老朽化は同様に、寺泊水族博物館も開館して40年が経っています。次の計画が定まるまでは、老朽化している施設を修理しながら何とか頑張って施設を利用しくことが現在の方針だと考えています。

(金澤教育長) 番組の中で、魚津水族館の結論は出たのですか。

(鷲尾委員) 結論は迷走していました。

(金澤教育長) 次に、第2回長岡市文化財保存活用地域計画策定協議会報告について事務局の説明をお願いします。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 長岡市文化財保存活用地域計画は3年計画で策定するもので、昨年度に第1回目の協議会を開催し、今回は2回目の会議になります。会議では、「長岡市文化財保存活用地域計画 目次(素案)」について、委員の方から計画の内容について具体的な御意見を伺い、今回は第2章、第3章、第5章の検討を行いました。委員から出された意見としては、第3章「歴史文化の特性」についての御意見で、「網羅的に記載されているが、かえって長岡らしさが不鮮明になっている。今後検討する保存活用区域も想定して、もう少し重点的に取り上げて、長岡の特徴を出してはどうか。」という御意見をいただきました。他市の事例では、網羅的すぎて、計画を作っても何から取り組むのか分からないとなっている計画もあることから、長岡市の特徴を網羅する中で、もう少し絞り込むなど分かりやすくすることで、次の会議以降に提案をして御検討いただきたいと考えています。なお、現在の区分の五つの案は、「豊かな自然環境とともに歩む長岡」、「越から長岡へ1,300年の歩み」、「交通の要衝と結節点」、「物作りの歴史」、「不撓不屈の不死鳥長岡」という五つのくくりでやっていますが、委員の方からは、最後の「不撓不屈の不死鳥長岡」については厳しい御意見があり、内部では、より計画に特徴を出したいと検討を進めているところで

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありますか。

(金澤教育長) 御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) 次に、令和6年度第1回長岡市子ども・子育て会議報告について事務局の説明をお願いします。

(深澤子ども・子育て課長) 第1回長岡市子ども・子育て会議は7月23日に開催され、委員18名とアドバイザーの新潟県立大の小池教授に御出席いただいたほか、関係課職員13名が参加しました。会議の概略をお伝えしますと、まず議事1については、本年6月末で会議の委員任期を迎えたことから、委員長を指名し、副委員長が選

出されました。その他、議事3「令和5年度の子育て支援施策の実施状況」については、第2期子ども・子育て育ち“あい”プランの施策の実施状況について、成果指標に基づいて事務局から説明しました。また、議事の4番、5番においては各委員を4グループに分け、次期「長岡市こども計画」策定にあたり、「大切にしたい視点」、「盛り込みたい要素」について検討いただきました。委員の皆様活発に議論いただき、最後に御意見とアドバイザーから総評をいただきました。

(金澤教育長) 御質疑、御意見はありませんか。

(廣川委員) 子ども・子育て会議は、活発に意見が交わされるのが印象的で、本当に色々な立場の方が色々な自由な発言をしてくださる会議で、小池先生も的確で素晴らしいアドバイスをくださると思います。この会議で出た意見を実際に取り入れるということはどのぐらいあるのですか。

(深澤子ども・子育て課長) 基本的には、委員会の委員の皆様御意見については、できるだけ取り入れて話したいと考えております。

(廣川委員) 従来はどうですか。

(深澤子ども・子育て課長) 定量的にどのぐらいと申し上げられないのですが、基本的には、意見を聞くために諮問していますので、できるだけ取り入れたいと承知しています。

(星野子ども未来部長) 基本的には委員の皆さんからご意見をいただきたいことについてお話いただくわけですので、当然ながら、そこで出た意見について、取り入れられるものは取り入れる、事業に反映するということをしています。今回は、こども計画という大きなテーマがあったため、どのように作っていくかという部分について議論いただきました。

(金澤教育長) 他に御質疑はありませんか。

(金澤教育長) では、御質疑、御意見なしと認めます。

(金澤教育長) これをもちまして、協議報告事項を終了します。

(金澤教育長) それでは次に、催し案内等について説明願います。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 教育センターで「長岡地域こども標本作品展」を9月26日から10月18日まで開催します。夏休みに子どもたちが製作した標本を展示し、賞を付けるものではなく、子どもたちが夏休みに純粹に取り組んだ作品を紹介することを目的としています。ミライエ長岡を会場に展示することで、地域住民や教職員の人の関心を高め、これをきっかけとしてさらに取り組んでいただくことを願い開催するものです。

(梅沢中央図書館長) 「長岡の絵本作家 松岡達英展」を9月21日から11月24日まで栃尾美術館で開催します。

(金垣教育部参事(科学博物館長事務取扱)) 馬高縄文館が開館15周年ですので、特別展として「馬高式土器から栃倉式土器へ」を開催します。新潟県の縄文時代中期を代表する二つの様式を展示して、比較してみていただく展示になっています。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 最後に、長岡市保幼小中連携事業講演会を、明日8月21日水曜日の午後1時半から3時45分まで、長岡リリックホールシアターで開催します。「『あなたはホントに子どもを観とれていますか』～観とり学の勧め～」というタイトルで、保幼小中の関係の教職員等で176名が集まります。今回は上越教育大学学長補佐の桐生徹さんから、様々な場面で子どもを「観とる」ということを皆さんと一緒に考える講演会を開催します。教育委員の皆様も、お時間がありましたら御参加をよろしくお願いいたします。

(金澤教育長) 他に報告事項はありませんか。

(鷲尾委員) 参加できないため、講演録等を聞かせてもらうことは可能ですか。また、「観とり学」というのは、教育用語なのですか。

(竹内教育部長(学校教育課長事務取扱)) 講演録については別途確認します。

(金澤教育長) 「観とる」という言葉は、保育園でも使う用語だそうです。一般的に「観とる」というと違う意味を想像しますが、講師の方の造語として、観察するというので、「観」を使って、「観とる」ということです。教育現場・保育現場の特殊な言葉です。

(金澤教育長) これをもちまして本日の定例会は閉会します。ありがとうございました。

会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会教育長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員